

水産庁

プレスリリース

平成21年4月21日
水産庁

2009年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(JARPNII)三陸沖鯨類捕獲調査の開始について

第二期北西太平洋鯨類捕獲調査計画に基づき、以下により鯨類捕獲調査を行うこととしましたのでお知らせします。

1. 調査の目的

鯨類の捕食が漁業資源に与える影響評価に関するデータの収集を目的として実施する。

2. 調査実施主体

財団法人日本鯨類研究所

3. 調査期間

平成21年4月22日(水曜日)から5月下旬まで(上限頭数を捕獲次第終了)

4. 調査海域

宮城県石巻市鮎川港を中心とした半径50マイル以内(主として30マイル以内)の海域

5. 調査参加船

標本採集船:4隻

餌環境調査船:1隻

6. 捕獲対象種及び捕獲上限頭数

ミンククジラ60頭

7. 調査方法

4隻の標本採集船が主に30マイル海域内でミンククジラの捕獲調査を行い、胃内容物の餌生物種の同定、内容物の測定、生物学的情報の収集等を行う。

餌環境調査船はあらかじめ設定された調査線上を航走し、計量魚探、トロール網等を使った餌環境調査を行う。

— お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課
担当者: 捕鯨班 高屋、古川
代表:03-3502-8111(内線6724)
ダイヤルイン:03-3502-2443

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

水産庁